

研究所だより

研究所責任者 武 敏夫

70年の長い間、現会の年度末は3月末で4月より新年度の始まりでしたが、丁度示現会展の始まりと重なり会計係が大変困っていました。数々の改正案が出まして、今年の1

月から新年度のスタートが出来ましたが、多少の戸惑いはありました。改善して良かった面が多く、これを機会に研究所の開講の変更も今考えています。今迄休みだった土曜日、日曜日を開講して、水曜、木曜日を休講日に変え、日頃、仕事に忙しい方々に土、日曜日に来て頂く考えです。講師の先生も増員して、個人の先生の指導のもとで講座を企画、責任をもって、色どりの有る講座が増える事を願っています。

研究所に学んで…

埼玉 土屋 和也

人物を描き始めて間もないので、この度、先生方にいろいろとご指導いただき大変勉強になりました。

構成のこと、混色のこと、配色のこと、色塗りの順序、筆の運び方等教わりながら描いていきました。特に武先生に質問し、教えて戴いた肌色の混色には目からウロコでした。

バーミリオンと白、そしてなんとビリジャンを少々混ぜます。

短い時間で、駆け足で仕上げましたが、思いの他、自分なりにいい絵になったと思っています。ありがとうございました。機会があったらまた参加したいと思います。「一枚の繪」などでも有名な先生にもお目にかかれてうれしかったです。

「研究所に学んで」

廣田 文男

8月から本会に入ることになりました。これまでいくつかのアトリエで学んできましたが、一週間通しで描くというのは初めてでペース配分がつかめず戸惑いを感じています。また、日替わりでアドバイスくださる先生方がおられるのは多面的に自分の絵を批判的に眺め直すことができますので、大変良いシステムだと感じしております。

昨年、やっとの思いで医療用レーザーに関する特許を

取得することができ、それに関する本の出版準備も忙しいですが、絵の方もこれまで研究発表のため訪れた海外の風景や都内の図書館で出会った超古代文明の謎に関する本などから着想を得て絵にしたいと考えております。



▶ 研究所風景



▶ モデルを描く